

第4回 岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

日 時	2019年12月23日（月）9：30～11：20		
場 所	岡崎市役所東庁舎2階大会議室		
議事骨子	1. 開会 2. 議題 (1) 地域別構想案について 3. 報告 (1) 住民説明会における市民からの意見とその対応について (2) 企業アンケート結果について 4. 閉会		
配付資料	・次第 ・資料1 地域別構想（案） ・資料1（参考） 地域ごとの将来像と地域づくりの目標 ・資料2 住民説明会における市民からの意見とその対応について ・資料3 企業アンケート結果について		
委員	13名中11名出席		
	所属	職名	氏名
■出席	■名城大学	教授	松本 幸正
□欠席	■愛知産業大学大学院	准教授	宇野 勇治
	□東海学園大学	名誉教授	宮崎 幸恵
	■岐阜工業高等専門学校	教授	鶴田 佳子
	■愛知県都市整備局都市基盤部都市計画課	課長	片山 貴視
		代理 課長補佐	伊藤 俊司
	■愛知県西三河建設事務所	企画調整監	大野 伸二
	■岡崎商工会議所	女性部会長	太田 敏子
	■岡崎農業委員会	会長	羽根田 正志
	□NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた	事務局長	天野 裕
	■NPO 法人21世紀を創る会・みかわ	専務理事	斎藤 眞澄
	■株式会社まちづくり岡崎	取締役事業統括本部長	長谷川 伸介
	■市民代表		石井 美紀
	■市民代表		片桐 政勝

1. 開会

事務局

<あいさつ>

只今より第4回策定委員会を始めさせていただきます。本日はお集まりいただき誠にありがとうございます。まず初めに、事務局から本日の委員会の設置につきましてご報告させていただきます。本日の会議につきましては、岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されていますので会議が成立致しますことをご報告させていただきます。なお、本会議につきましては、策定委員会設置要綱第5条第3項の規定に基づき公開することとしておりますが、希望者がおりませんでしたので傍聴者なしとさせていただきます。会議は次第に沿って進め

させていただきます。それでは以降の議事進行につきましては松本委員長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

2. 議題

(1) 地域別構想案について

※資料説明及び質疑応答

宇野委員	各地域の将来像と地域づくりの目標について、抽象的な表現が多く地域ごとの特徴が分かりにくいいため、より地域ごとの特徴が分かる将来像・目標にできないか。
松本委員長	将来像や目標の中に施設名等を記載しているが、それらを具体的にどのようなようにしていきたいのか分かりにくいいため、分かりやすい表現となるよう検討していただきたい。
事務局	意見を参考に検討します。
鶴田委員	地域ごとの将来像について、現行計画と変わった地域はあるのか。
事務局	現行計画の記載を参考に将来像を設定しており、大きく内容を変更した地域はありません。
鶴田委員	全体構想の主要課題から、地域ごとに当てはまる課題を整理していることが分かる表現にしてはどうか。
松本委員長	P.2(用語の解説)に全体構想で挙げた主要課題から地域ごとに当てはまる課題を整理しているという説明を追加してはどうか。
事務局	意見を参考に検討します。
鶴田委員	地域住民の意見を反映するために、今後、住民説明会やパブリックコメントでの意見を将来像や目標に反映するのか。
事務局	住民説明会等で反映すべき意見があれば反映します。また、第1回住民説明会では、地域ごとに参加者数に差があったため、令和2年1月下旬頃に予定している第2回住民説明会では、町内会の代表である総代の方への住民説明会開催の周知などを行い、多くの方に議論していただけるよう努めています。
鶴田委員	全地域の目標5が同じ内容となっているため、地域ごとの課題を反映した目標としてはどうか。
事務局	意見を参考に検討します。
石井委員	将来像を示すことは重要であるため、より強調したデザインにしてはどうか。
松本委員長	将来像について、見せ方を検討していただきたい。
石井委員	地域づくりの目標については、具体的にどのような施策・事業を行うのか分かりにくいいため、表現を検討していただきたい。
松本委員長	都市計画マスタープランでは、一般的に将来像や目標に具体的な施策・事業は明記せず、地域のまちづくりの方針の中で具体的な施策・事業を位置付けている。
石井委員	空き家件数について、他地域と比較してはどうか。また、中央地域の空き家件数は、地域全体を対象に算出しているのか。

事務局	空き家件数については、地域全体を対象としており、岡崎市空家対策計画を策定する際に集計したデータを使用しています。
石井委員	空き家について何か施策・事業を行う予定はあるのか。
事務局	現況として空き家件数を記載していますが、現状、具体的な施策・事業は掲載していません。
松本委員長	空き家について記載していることにより、何か施策・事業を行うように見える。
石井委員	空き家の課題を挙げるにあたり、空き家が都市部・山間部どちらで多いかによって課題は変わってくると思う。また、中央地域の空き家件数は他の地域に比べ多くなっており、中央地域固有の課題であると思う。
事務局	空き家件数については、地域ごとに空き家件数のみ集計しており、詳細なデータ整理はできていません。
松本委員長	データを整理していただき、課題に挙げるものがあれば位置付けて、施策・事業を示していただきたい。また、他地域と比較してはどうかという意見については、現況の整理の比較資料を作成してもよいと思う。
事務局	意見を参考に検討します。
片桐委員	各地域の将来像や目標について、コンパクトシティを目指す一方で、既存集落の維持を目指すなど、相反する内容が含まれる将来像や目標が設定されているため、地域ごとに目指す方向性に沿った将来像や目標を設定していただきたい。
事務局	市の考えとしては、市街化区域においては立地適正化区域に基づき都市機能誘導区域に機能の集積を図り、市街化調整区域においては地区計画に基づき既存集落の維持を図る方針としています。分かりやすい表現となるよう記載を検討します。
松本委員長	現段階で示されている将来像や目標の中で、地域ごとに位置付けられている拠点に機能の集積を図る一方で、既存集落の維持も図るという方針が示されていると思う。
伊藤委員	中央地域は広いため、具体的な施策・事業が市街化区域内のどの場所で行われるのか分かりにくい。以前の議論の中で、地域を分けるという話があったが本計画では分けずに整理するのか。
事務局	中央地域において、分けて現況整理ができなかったため、現状、支所単位での整理となっています。施策・事業の実施場所が分かりやすくなるよう表現を検討します。
齊藤委員	岡崎地域の将来像にある「都市と農業との共生」や東部地域の目標2の「都市と自然の共生」について、表現として正しいのか。また、中央総合公園と中央公園の違いは何か。
事務局	中央総合公園の記載が正しいため、中央公園の記載を修正します。 「都市と農業との共生」については、現行計画を参考に記載しています。農業や自然といった記載を統一するなど表現を検討します。
松本委員長	都市計画マスタープランの中で、岡崎地域を都市農業や田園住居地域を位置付ける地域とするのであれば、そのままの表現でよいと思うが、なければ表現を検討する必要がある。
事務局	岡崎地域においては、特定生産緑地に指定されている農地等があり、都市と農業の

	共生と表現しています。
松本委員長	市として岡崎地域を特に農地を保全する地域と位置付けるのであれば、そのままの表現でよいと思うが、他地域と変わらないのであれば農業について特記する必要はないと思う。
事務局	意見を参考に検討します。
宇野委員	主要課題5の災害対策については、浸水想定区域等を別途現況資料として掲載してはどうか。また、浸水などにより同様の災害リスクが想定される複数の地域においては、対応を統一させる必要がある。
松本委員長	内容について検討していただきたい。
松本委員長	利便性の高いという言葉が多用されているが、目標の内容によって適切ではないものもあると思うため、表現を検討していただきたい。
事務局	意見を参考に検討します。
松本委員長	額田地域の目標2について、自然との共生による交通利便性の高い環境の整備という意味がよく分からないため、表現を検討していただきたい。また、額田地域は自動車による交通が主であるため、道路交通の利便性を高めるといった表現にする必要がある。
事務局	意見を参考に検討します。
鶴田委員	中央地域の具体的な施策・事業とまちづくり構想図の番号がずれている。また、まちづくり構想図に掲載している・していない施策・事業の基準は何か。施策・事業は可能な限り掲載するべきだと思う。
事務局	施策・事業の番号について、まちづくり構想図に掲載している番号と整合するように修正します。また、まちづくり構想図に掲載している施策・事業は、現行計画で掲載している施策・事業を参考としており、明確な基準は設定していません。
松本委員長	全ての施策・事業を図に掲載すると分かりにくくなるため、主要な施策・事業のみ掲載してはどうか。その場合、主要な施策・事業とした基準を設定する必要がある。
事務局	意見を参考に検討します。
石井委員	文教・学術地が具体的にどの施設なのか明確にしていきたい。また、具体的にどのような施策・事業を行うのか。
松本委員長	文教・学術地は、都市計画で特別用途地区等に指定しているのか。
事務局	今後、地区計画等を検討することを視野に入れ位置付けています。大学等において、周辺環境に配慮した上で、施設の高度化を図ることも検討したいと考えています。
松本委員長	研究施設等の高度化や通学路等の周辺環境の整備など、文教・学術地ごとで実施する施策・事業を明確にする必要がある。また、全ての学術・文教地で施策・事業を実施するのかについても明確にする必要がある。
事務局	意見を参考に検討します。
大野委員	六ツ美地域で実施する施策・事業について、衣浦岡崎線は具体的にどのような整備を行うのか。また、岡崎刈谷線の整備は六ツ美地域を通る部分のみ整備するのか。

事務局	衣浦岡崎線については、図に示す破線部分において4車線化の整備を行います。また、岡崎刈谷線の整備については、現行計画を踏襲し位置付けているため、意見を参考に表現について検討します。
大野委員	施策・事業については、「衣浦岡崎線の整備」という記載ではなく「衣浦岡崎線の4車線化」など具体的な整備内容を記載していただきたい。
松本委員長	岡崎地域においても岡崎刈谷線の拡幅整備を促進すると記載しているが、図には掲載されていないため、表現については関係機関と調整の上、表現を検討していただきたい。
事務局	意見を参考に検討します。
大野委員	地域ごとのまちづくり構想図の道路について、整備済みなのか計画中なのか改めて確認していただきたい。
事務局	まちづくり構想図で示している道路について、現状の整備状況等が正しく示されているか改めて確認します。
宇野委員	まちづくり構想図について、カラーユニバーサルデザインの観点から、色弱の方でも分かりやすい表現にしていただきたい。
事務局	意見を参考に検討します。
宇野委員	文教・学術地の施策について、周辺環境の維持向上とあるが、具体的にどのような施策・事業を行うのか。また、研究機関を核としたまちづくりを図るとした場合、大学については周辺整備等を行わないようにも読み取れるため、都市計画マスタープランの中で大学等を地域交流の場として位置づけていただきたい。
事務局	事務局としては、研究所や大学等によって施策・事業に差をつける意図はありません。意見を参考に表現について検討します。
松本委員長	具体的な取り組みがあれば位置づけていただきたい。大学から市に対して周辺環境の整備等の要望はあるのか。
事務局	大学から市に対して周辺環境の整備等を要望したという事例はないと思います。
松本委員長	大学が市と協働して整備を行うのであれば記載しても良いと思うが、整備する予定がなければ記載する必要はないと思う。地域との交流によるまちづくりといったソフト対策については記載してもよいと思う。
事務局	文教・学術地の施策は現行計画を踏襲し記載しているため、意見を参考に表現について検討します。
鶴田委員	中央地域や大平地域などの都市部と山間部が含まれる広い地域においては、地域の東部や西部といったエリアごとに現況を整理してはどうか。また、空き家について、全市の空き家件数に対する地域ごとの空き家件数の割合を算出し、地域の指標に追加してはどうか。
松本委員長	面的整備率や道路率等の地域の指標は、市街化区域だけを対象に算出しているのか。
事務局	都市計画基礎調査のデータを基に算出しています。
松本委員長	エリアごとに現況を整理することが可能であれば分けて整理していただきたい。空

事務局

き家については、地域の現況が的確に分かるような整理をしていただきたい。
意見を参考に修正します。

3. 報告

(1) 住民説明会における市民からの意見とその対応について

※資料説明及び質疑応答

→質疑応答なし

(2) 企業アンケート結果について

※資料説明及び質疑応答

松本委員長

アンケート結果より、産業用地の確保は求められているのか。

事務局

産業用地や人手が不足しているという意見が多いため、都市計画マスタープランとして、産業用地の確保や従業者の居住環境の整備等を検討します。

4. 閉会

事務局

今回いただいた意見を反映した地域別構想案をもとに、第2回住民説明会を令和2年1/18(土)、19(日)、25(土)、26(日)及び2/2(日)に行います。

松本委員長

オブザーバーとして委員が参加することは可能なのか。

事務局

参加していただくことは可能です。

それでは、本日は長時間ありがとうございました。次回の策定委員会については、後日改めてご連絡させていただきます。それでは、これにて第4回策定委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上